2023 年（令和 5 年）10月 1 日
くげぬま探求クラブ

会報 くぐひ

第115 号（秋号）

◇ くぐひ（鵠）は白鳥の古い呼び名。鵠沼には昔たくさんの白鳥が飛来したことによる ◇

公民館まつりは我がクラブのメイン行事、全員参加で取組もう

世話人代表 坂口 純則

昨年を振り返って

昨年は、コロナ規制が緩和方向にあり、感染症対策を講じつつも、3年ぶりに公民館まつりが開催されました。まだコロナ下であり、2年のブランクもあったことから、来場者がどの程度見込まれるか、不安を持ちつつ臨んだ公民館まつりでした。結果は天気にも恵まれ、プレイベントの古本市、本イベントの囲碁・将棋ルーム、手作りおもちゃ、災害展示、ヤングブラザーズの公演も盛況裡に終えることができました。古本市は1週間前のプレイベントとなり、かつ、会場も談話室からホールでの開催に変わったことで準備する側、購入者側とも好評であったと聞いています。手作りおもちゃは予想外の来場者で、一日で完売となるも二日目も開店しようと決め、皆が手分けして事前準備や当日の対応に奔走した、怒濤の二日間だったことが思い出されます。私には初めての公民館まつりでしたが、皆さん方の積極的な取組みぶりを見て、公民館まつりは我が探求クラブのまさにメイン行事であることを実感しました。

今年の取組みについて

今年はコロナ明けでの開催となり、出展団体も多くなると聞いております。来場者も昨年より多くなることが予想されます。前回の反省を踏まえながら、できるだけ前倒しで準備を進めていきましょう。そして全員が参加できるよう努めましょう。

古本市は、昨年売れ残りが多く見受けられたことから、探求クラブの申し出により、販売日を土曜日一日から土曜、日曜の二日間にすることが決まりました。日曜日は公民館職員の負担が少ない形を提案しています。

手作りおもちゃは、鈴木英紀さんの申し出により、久しぶりに竹笛をやることになりました。よって、今年は、竹笛、輪ゴム鉄砲、CDコマの3品目をやることになります。災害研究部会の展示は、昨年好評だった実物トイレ2台を設置した在宅避難者のトイレ問題と防災クイズを組合せ、昨年同様、大人も子供も楽しめる防災コーナーでの盛り上がりを期待します。

鵠っ子囲碁・将棋ルームは、昨年同様テントを使用した教室を開催します。去年は来訪者がやや少なかったようですが、今年は佐藤九段の講演と指導対局が8月にありましたので、昨年より増えることが期待されます。

ヤングブラザーズは今年も出演予定です。昨年は「歌でめぐる世界の旅」がテーマでしたが、今年はどんなテーマで歌ってくれるのか、楽しみです。

今年の日程と責任者

古本市	受付 10/29（土）～10/5（木）、 販売 10/7（土）10/8（日）	責任者：奥村、池田(修)
手作りおもちゃ	10/14(土) 10/15(日)	（総括）塩川、責任者：鈴木、奥村、塙
囲碁・将棋ルーム		責任者：河村
災害展示		責任者：柳田、小川
ヤングブラザーズ	10/15(日)	責任者：池田(修)

30周年記念行事報告
「鵠っ子スクエア2023 ～遊んで学ぼう！体験教室開催！

小山 和彦

学校が夏休みに入ってすぐの7月26日（水）、「鵠っ子スクエア2023 ～～遊んで学ぼう！体験教室」を鵠沼公民館と共催で開催した。

探求クラブ憲章に則り、地域の子供たちに楽しんだり、学んだりしてもらえる場所と時間を提供するイベントとして25周年時に1回目が開催され、今回30周年の行事としてももう一度これを実施しようという声が上がり実行することとなった。

探求クラブの部会の中には子供たちが楽しんだり、学んだりできそうな部会がいくつかあり、手を挙げてもらったところ、子どもと遊ぶ会、おもちゃの病院、似歌会、災害研究部会、鵠っ子囲碁・将棋ルームが参加ということになった。単一のクラブで4つの子ども向けイベントを同時一か所で開催できるところは他にはないであろう。多数の部会を擁する探求クラブならではだ。

さて当日、開催準備のためクラブ員の集合を12時半としたものの、先に使用のサークルがあり10分ほど遅れて設営を開始したが、そこはクラブの機動力がいかんなく発揮されて、あっという間に準備完了となった。

1時を回ったころには、早くも午前中に行われていた鵠っ子スクエア・クッキング教室からの流れという子が会場に現れたので時間まで、河村さんが囲碁・将棋コーナーの案内板にあるイラスト（水野さん作成）に色を付けてもらう手伝いを依頼、さらには他のコーナーもお願いした。1時半の開会のころには子供たちが友達と、あるいは親と続々とやってきてほどなくホールは子供たちの歓声でにぎやかになった。

以下は各コーナーの様子である。

＜囲碁・将棋コーナー＞

鵠っ子囲碁・将棋ルーム担当のコーナー。初めのころは静かだったコーナーも将棋好きな子が来ておじいさんたちと将棋を指し始めた。探求のおじいさんが手一杯になったころ、子供同士、親子で指すものなどで盤が埋まっていった。今はオンラインゲームなどに夢中になる子供も多い中、藤井聡太竜王・名人フィーバーも影響してか初めて指すという子もいて大いに賑わった。

＜俳句コーナー＞

似歌会が主催するコーナーは俳句の基本を知ってもらい、五・七・五の文字遊びをしてもらおうというもの。ここはプレバトも影響しているようで、一人で十以上の句を次々に作る子もいたりして、コーナー担当も驚くほどであった。出来上がった26句はクラブホームページに掲載されている。

＜キッズ防災コーナー＞

災害研究部会担当のコーナー。色々なアイデアが出たが、防災カルタ取りと液状化実験で災害に対する心構えを勉強してもらうこととなった。防災カルタは子供向けに作られたもので、取ったカルタを読み上げてもらい、プリントも渡して勉強してもらうことになった。今回の目玉は液状化実験。水槽に砂と水を入れ、上に家の模型を置いて水槽をたたいて振動で家が沈んでいく様子を見てもらい液状化現象を体験してもらった。2つの体験をしてくれた子には“防災マイスター”認定証を渡すなど趣向を凝らした企画であった。

＜手作りおもちゃコーナー＞

子どもと遊ぶ会・おもちゃの病院の合同で担当するコーナー。今回のおもちゃのテーマは、パズル変わり絵、割り箸の輪ゴム鉄砲、紙トンボ、紙皿で作るフリスビー、紙飛行機各種。このコーナーが一番人気でアンケートによれば来場の子どもの全員が何らかのおもちゃを作って楽しんだようである。さらには作ったおもちゃで遊ぶことができるスペースも用意し、的当てや飛行機飛ばしなど大いに楽しんでいた様子であった。どのコーナーも子どもの歓声で溢れ、アンケートの結果を見ても参加の子供たちみんなが楽しんでくれたようだ。

30周年記念行事報告

佐藤康光九段を招聘！ 講演と指導対局を開催

招聘の足跡と、共催者および参加者からの投稿

河村 英二

この度、私達くげぬま探求クラブ創立30周年行事に、10周年、20周年に引き続き佐藤九段に3度目の足をお運びいただき、講演と指導対局の行事を開催しました。

この行事は佐藤九段のご尊父と当クラブOBの斎藤さんの交友関係に頼って実現したものですが、昨年8月に斎藤さんと懇意の五島さんを介してお願いの打診をしたところご快諾をいただき実現することが出来ました。

フォト①講演

20周年時には佐藤九段のご尊父と斎藤さんに行事推進の仲介の労を取っていただきましたが、今回は佐藤九段と直接メールで交信して企画、実施案を立て今日の実現に至った次第です。

フォト②講演

現役のしかもトップクラスの棋士に直接対面で指導をしてもらうという滅多にない機会なので、多くの子供に経験させたいと広報活動に力を入れました。藤沢市広報紙に記載のほか、ポスター、チラシを探求のメンバーの協力を仰ぎ、広く掲示してもらいました。期待通り多くの応募があり、抽選により40人に絞らせてもらいました。当選者の地域も鵠沼公民館地域外から15名と広い範囲からの来場で広報の効果がうかがえました。会場のホールは直接指導を受ける当日出席の37人の子供たち、子供の父兄はじめ一般の来場者64名、そして当クラブ員26名、公民館職員4名を合わせると130名を超える人数で賑わいました。

いよいよ当日、鵠っ子囲碁・将棋ルームのメンバーはじめクラブの半数以上のメンバーが会場の設営、模様替え、進行係と精力的に動いたおかげでこれ以上ないスムースさで行事を進めることが出来ました。

講演（フォト①②）、直接対局指導（フォト③④）、次の一手の設問（フォト⑤）と予定通り種目を進めました。メインの直接対局指導は子供達に強烈な印象を残し「九段と戦えてうれしかった」「つよかったけどうれしかった」等の感想を残しています。又、父兄の方も一様に「子どもにこのような機会を経験させて感謝」とアンケートに記述を残しています。尚、ホームページにも行事の報告が掲載されていますので合わせてお読みください。

閉会の挨拶で、「10年後の40周年時には、佐藤九段はまだ60歳前半の若い年齢です。その折もお願いできましたら」と付け加えさせて頂きました。

最後に、対局した子供と、公民館長の感想を披露して報告の締め括りといたします。

フォト③直接対局指導

フォト④直接対局指導

フォト⑤次の一手の設問

くげぬま探求クラブ創立30周年記念行事
「佐藤康光九段との指導対局」を終えて

くげぬま探求クラブ創立30周年、誠におめでとうございます。平素は様々な行事へのご協力や地域貢献活動に対し心よりお礼申し上げます。

今回、創立30周年記念行事として開催された「佐藤康光九段との指導対局」におかれましては、超一流のプロ棋士をこの鵠沼の地にお呼びいただき、無限の可能性を秘めた地域の子どもたちに滅多に経験することができない直接対局する場を提供されたことはプライスレスなときであったと感じております。このような子どもの頃に体験した経験は、ずっと身体のどこかに記憶され、今後の成長していく過程において大きな力になっていくものと思っています。

このイベントに参加した子どもたちの中から、将来のプロ棋士が誕生することを密かに期待しつつ、公民館との共催事業として地域にとって非常に有意義なイベントを実現していただきましたことに感謝いたしております。今後も、クラブの皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしますとともに、ますますの地域でのご活躍を期待しております。

鵠沼公民館長　山口秀俊

高岸勇武　中学１年　級申告なし

僕は、くげぬま探求クラブの方から、佐藤康光九段が鵠沼公民館に来て下さると聞いてとても驚きました。佐藤九段は日本将棋連盟前会長であり、また永世棋聖や他のタイトルも獲得していることを知り、こんなすごい人と将棋を指すのかと思い、勝てるか不安でした。

当日僕は、6枚落ちで佐藤九段と対局しました。初めは、いつも通りに守りを固めました。しかし中盤、窮屈になっていて厳しかったのですが、佐藤九段の隙をつき何とか勝つことが出来ました。最後の表彰式で、僕は一番最初に勝ったということで、賞品の佐藤九段のサイン付きの扇子をいただきました。次の40周年の際には、ぜひ一般として参加したいです。

くげぬま探求クラブの方々、このような貴重な機会を作っていただき、本当にありがとうございました。

第18回　地域活動見本市に参加

世話人代表　坂口　純則

9月2日（土）新庁舎1Fロビーで開催された地域活動見本市に参加した。参加団体19（うち3団体は新規参加）、来場者400人。場所は入り口から入って最初の左側で好位置。探求クラブの旗も掲げていたので目立っていたと思う。来場者のうち、団体参加者、女性等を除くシニア層は50人程度と少なかったように思えた。藤沢市は地域活動を積極的に後押しする政策を掲げており、鈴木市長も視察に来られた。探求クラブのブースにも「よく知っているよ」と声をかけてもらい、一緒に写真を撮らせてもらった。

肝心のブースへの来訪者（チラシの説明を受け、持ち帰った人）は15人。うち、鵠沼東、片瀬、片瀬海岸、藤が谷など近隣在住者が7名いたので、2～3名は加入有力と期待している。

当日、我々と同様な理念で活動している「じゃおクラブ」に立ち寄り、前回面識のあった「じゃおクラブ湘南」増田代表と話をした。彼らも高齢化が進んでいるとの事であるが、会員40名、平均年齢76才と我がクラブよりは若い。毎年3～4名の加入者がいるようで、農園（約700坪、農業用機械を使用）が売りになっているようである。交流会も話題になったので、是非、計画してみたいと思っている。世話人の皆さん、応援にきてくれたメンバーの皆さん、お疲れ様でした。

地域活動部会紹介

ヤングハーツ

ヤングハーツ部会長を引き受けて

新部会長　井上　忍

私がヤングハーツに入部したのは、2019年6月ですが一年に満たない頃からコロナ禍で、介護施設・他への訪問演奏活動は中止となりました。また毎月の練習会への参加者も減っていき、昨今は楽器グループ（探求クラブ部員は前部会長と私の2人、ゲスト4人）と、歌グループ（自主参加で2～4人）の寂しい活動実態でした。

こんな中、諸事情を考慮した末での部会長への就任ですが、音楽が好きと入部していた私を、「好きと上手は違う」と心配して助勢・協力をと数人が入部、あるいは私的事情が改善したら復帰を検討するとの話も戴き、嬉しさと感謝で頭が下がります。

こんな新部会長ですが、部会に新風をと、①月別演奏曲の見直し、②ボディーパーカッションの取込み、③懇親機会の検討等、幹事会を再編し検討・決定する事ではありますが、最終的に全部員が楽しみながら訪問先観衆と一体となる活動が出来たらと願っています。

ヤングハーツは続く訪問演奏

前部会長　野村　時男

「ヤングハーツ」と名づけ、老人ホーム鵠生園、藤沢病院に毎月演奏に通い、「敬老会」等、多々演奏に励んできましたが、コロナの影響で、全ての出演依頼がパッタリと無くなりました。そんな中、2022年3月末、「脳活クラブ」の鈴木しげ世話人より、4月1日の「お花見」にヤングハーツの演奏を頼む、と急な依頼があり、探求2名、女子2名の演奏で何とか乗り越え、さらに、4月から「亀吉本店」と「脳活クラブ」に隔月の演奏も依頼され、実行しています。今年のお花見の演奏も実施しました。9月23日の公民館ホール「グリーンコンサート」に出演も決定しました。

そして7月に、鵠生園のデイサービス部門から演奏の復活依頼があり、井上部会長、坂口代表、大木さんの3名と私とが鵠生園を訪ね、打ち合わせの結果、10月24日からヤングハーツの演奏開始が決まりました。新部会長との引継ぎも出来ました。優秀なスタッフの下、更なる発展が期待出来ると思います。

親睦研鑽部会紹介

おひる探Q会

この4月、3年ぶりに再開しました！

鈴木 英紀

おひる探 Q 会は、2019年（令和元年）12月、鵠沼公民館の創作実習室で誕生後、翌年2月まで3回開催して新コロナにより休会となりました。今年4月、3年ぶりに再開しました。今回は、そのルーツについて紹介します。

1992年（平成4年）、神奈川県立江の島婦人会館（のちに江の島女性センター）で発足した男性料理グループ「湘南さざえの会」まで遡ります。当時、県は男女共同参画計画に従い、リタイア後の中高年男性向けに、女性専任講師による月1度・10回シリーズの料理教室を企画、実施しました。講座終了後に、受講者15名ほどによる自主研修会が立ち上がりました。くげぬま探求クラブ創立の前年のことです。

そして数年後、施設の老朽化に伴い廃館を検討するという話が出てきます。利用グループを増やして何とか存続させようと、「湘南さざえの会」も有志を募ってつくったのが「お菓子の会」でした。2014年春、二度目の東京オリンピック開催を控えて休館となり、鵠沼公民館へ場を移すことになりました。湘南さざえの会が20名、お菓子の会は10名ほどでした。お菓子の会は、やがてメンバーが4人になり、しばらく休会の後、2019年3月、解散することになりました。

いよいよ収穫の秋がやってきます。穀物や野菜果物の旬を味わえる季節。まつりや行事に伝わる和食からヒントをもらい、おはぎや月見だんご、お供え物などをつくって、楽しいひと時を過ごしたいものです。

現在のメンバーは9名（うちゲスト3名）で、月例会は第1木曜日9時半から開催しています。

カラオケ部会

カラオケ部会あれこれ

池田 雄一

2017 年 5 月 4 人同好会として発足した。途中、中断もあったが現在部会長が 3 代目まで続いている。発足を待っていたせいか、第一回目は只者でない 4 人が 46 曲を歌い切るところから始まった。その後は回数が増す事により曲数を 50 曲の大台に乗る事しばしば、ジャンルは演歌が中心だが、ムード歌謡、シャンソン、タンゴ、ジャズ、韓国ポップス、英語、イタリア語、スペイン語、ご当地ソングとなんでもござれである。人材も豊富で、現役組、リタイヤした組、復帰組、ゲストと数えれば 20 人近くがマイクを握った。中でも特徴的なかたを紹介しましょう。

美空ひばりさんをこよなく愛する K さん、「リンゴ追分」を歌われる時は参加の皆さんに青森から取り寄せたリンゴを配り、「東京キッド」の時は右のポケットからキャンディを配ったりと歌だけでなく皆さんを楽しませてもらった。出身地をアピールする T さん、「名古屋はええよ！やっとかめ」は合唱するほど虜にされた。SI さんは谷村新司さんの曲を少しハスキーな歌声でセツセツと歌い、バーチャルデュエットでは、曲でなくパートナーで選び？羨ましいほどピッタリ決まるのである。越路吹雪さんといえば、誰もが知ってる「愛の讃歌」「サントワマミー」「ラストダンスは私に」等 SA さんの独壇場であった。（最近は、N さんとかち合ってる為、どちらが歌われるか話題になっている。）その他、個性的な歌を歌われる方々と多彩である。

2020 年 2 月から 2023 年 1 月までコロナ禍で中断をせざるを得なかったが 2 月から再開。長期中断の間にカラオケ装置も進歩し採点の充実、リードボーカル、バーチャルデュエット、懐かしい歌手本人の映像など多彩になって来ている。

近頃では、最大 8 名のメンバーで楽しんでいる。曲数も常に 40 曲前後をこなし、その上会話を楽しみ、アルコールを楽しんでいる。最初はマイクを握るのでなく、グラスを傾けに来られることを待っています。何につけ、これからもカラオケ部会に乞うご期待！！

クラブ短信

9月2日の地域活動見本市には別途、ヤングブラザーズも参加した。男声合唱団と明記した掲示に「へーっ・・」という顔が多かったものの、某市議会議員の夫人が市職員の案内でブースに来て「夫に入団を勧める」とのリップサービスや、一緒に来た中年姉妹の積極的な後押しを受けながら入団意思を吐露した定年間近の「合唱が好き」という男性など、手ごたえがあった。（池田修）

ビフォア・アフター

「あらためて、会社人間から社会人間へ」

嶋村 堯敏

くげぬま探求クラブに入会したのは20年ちょっと前、2年後には定年が予定されていた頃で、まだ会社人間とか社会人間という言葉は流行っていませんでした。

徐々に仕事の量が減り、漸く3年前にサラリーマンの身分からスッカリ身を引いたので、約20年かけてゆっくりと会社人間から離れたような状況です。従って「ビフォア・アフター」と言われるような段差のある変化を経験していません。

「会社人間から社会人間へ」はクラブの標語にもなっていますが、ずいぶん頭のいい人が考えたのだなと思います。「会」と「社」の文字をひっくり返して、「から」と「へ」という文字でつないだだけで、サラリーマンの生活の大きな変化を表現しています。と同時に「会社という村から出されて寂しいでしょう、これからお棺に入るまで「社会」に参加して居心地の良い人生を送ったらいかが？」と誘っているようです。ここでいう「社会」は地域社会という小さなコミュニティを指しているのでしょう。

サラリーマン当時はあまり意識していませんでしたが、会社組織の中で小さな歯車として製品、情報などを世の中に提供することによって社会に参加していたことになります。また、個人としても消費生活を送ったり、源泉徴収される税金などの支払いで社会に参加・貢献しています。組織に長く保護？されていた中で、社内、同業、異業種、他地域の友人ができ、広い世界を経験しましたし、マンネリになりつつも、そのメリットを享受し、まあこんなものと納得して生きていました。

しかし、利益追求のための会社は効率的に組織を動かすため、そこには副作用も多いようです。時間の制約や、固陋なしきたり、不文律、腹芸、先輩後輩などが顔をきかせる人間関係、そして仕事のやり方などで管理され、意に反して信念を曲げたり、上司に忖度したりで息苦しく過ごすことも時にはありました。なにしろ村社会は顔見知り同士の集団で、固有の居心地の良さがある一方、孤立化を避けるため、種々の「しきたり」には従わざるを得ないのですから。

サラリーマン時代の過ごし方次第で、今までとは異なった世界へ、どのような気持ちで参加するかは人によって変わってくると思います。

表面的には会社人間でも、気持ちの中心を地域活動や趣味において、自ら進んで実質的に（地域）社会人間を目指している人もいれば、定年がやってきてやむなく会社人間を辞めざるを得なくなり、保護されていた（と思っていた）壁が無くなって、かすかな不安を感じている人や、妻や子供たちが属して毎日の生活の場になっている地域社会を改めて見直そうとする人もいます。クラブの標語は前者には不要で、後者のような状況にあるひとに向けた言葉で、なんとなくわかったような、わからないような、それでいてリズム感があり説得力があるように感じます。

私といえば、今でも会社との関係は、年金、OB会、親しい友人などを通じて僅かに続いていますが、日々の生活では、趣味の友人との交流のほか、「クラブ命」といえるほど活動に熱心に参加していませんが、そのクラブの活動が、意識としてかなりの部分を占めるようになってきています。鵠沼という生活の場にあって、会社人間の時代には感じなかった地域への帰属意識や人間的共感を感じながら、誤解をおそれずに言えば、馴染みの居酒屋（鵠沼という小コミュニティ）の常連（探求クラブの活動を通じて）になって心地よい時を過ごしています。

クラブ短信

昨年9月にはコロナ禍による活動を休会にした部会が9件あったが、今年の9月には0件であった。今後活動が活発化するとともに、入会のきっかけとなるゲスト参加が増えることを期待したい。

「くげぬま探求クラブ」はあなたの入会をお待ちしています。
「会社人間から社会人間へ」を目指す方々は「発行人の坂口」までご連絡下さい。
ホームページアドレス http://kugenumatankyuclub.web.fc2.com/ 、
左の QR コードまたは「くげぬま探求」、「鵠沼探求」で検索してください。

～例会・部会活動報告～

6月　June

○351回例会3日(土)出席29名。・公民館まつり実行委・サークル交歓会・地域活動見本市他報告。
○くぐひ制作部14日（水）委員11名、114号(春号)。活動報告の「世話人会開催」は不掲載決定。
○30周年実行委28日(木)10名、実施状況確認他
○アーカイブ委17日(土)8名。編成分轄作業用アプリ操作方法、欠落資料再調査他。
○鵠沼松が岡公園愛護会①4日(日)15名。②18日（日）　10名。
○藤が谷公園愛護会 16日(金)9名(2)。
○ヤングハーツ①7日(水)月初練習②14日(水)亀吉本店③23日(金)脳活倶楽部。
○おもちゃの病院①11日(日)12名(1)来院27②25日（日）10名（1）来院34名。長期在庫の確認。
○こどもと遊ぶ会26日(月)鵠洋児童館。6名、児童館3名、子ども18名。CDコマ製作。
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 18日(日) 8名、子ども10名、保護者4名。囲碁参加2名。
○災害研究部会 2(金)6名(1)。「ヒナトゥボ火山噴火」から、安全とは何。
○極楽部会 21日(水)12名。「ささえ」代表・三宅良介氏を招へい。
○健康を探求する会 22日(木)3名。「ゲンキの時間」の「基礎代謝が低くなる原因‥」V.視聴他。
○サロン会 17日(土)18名(2)。鵠南市民の家。
○健康部会23日(金)8名。茅ヶ崎・開高健記念館。
○探訪部会20日(火)5名(1)。鎌倉史跡散策。
○カラオケ部会19(日(月)5名(1)。計42曲。
○農園部会①4日（日）6名。夏野菜摘花。②17日(土)4名。ジャガイモ、キュウリ他収穫。
○談話室21日(水)10名。白内障、インプラント。
○近代史を語る会8日(木)12名(4)。新教材で再開。
○デジタル情報部会26日(月)16名。「Googleマップの使い方」「今どきのPC」研究。
○ヤングブラザーズ①10日(土)12名(4先生2)②24日（土）14名（4先生2）見学者1名。
○なつかしの名盤愛好会12日(月)5名。昔のカセット音源の曲を聴く。
○似歌会 13日(火)7名。兼題「梅雨」、24句。トップ4点句。
　化粧塩まといて鮎の姿焼き　虎山
○企業研究会17日(金)8名。福生市・田村酒造場。
○おひる探Q会1日(木)9名(3)。牡丹餅作り。
◇25回ボウリング大会14日(水)優勝・鈴木英。
休会：○メディア委員会○HP制作部。

7月　July

○352回例会5日(土)出席31名。・公民館まつり参加申込・レディオ湘南6/22,23放送。
＜30周年記念行事＞「鵠っ子スクエア2023」26日(水)29人(2)。来場 51人(小学生22、未就学児11、保護者18人)。
○アーカイブ委員会15日(土)8名。①フォルダの重複等確認と整理 ②クラブ員からの資料収集について ③動画、音声データの取り扱い。
○くぐひ制作部12日(水)10名。第115号(令和5年秋号)。長年委員を務めた北岡さんが退任。
○鵠沼松が岡公園愛護会①2日(日)14名。第3日曜の2回目活動見直し提案は継続決定②16日(日)8名。
○藤が谷公園愛護会9日(日)7名(1)。
○ヤングハーツ①5日(水)月初練習②17日(月)亀吉本店訪問③28日(金)脳活倶楽部(公民館)
○おもちゃの病院①9日(日)11名(2)。来院34引取20②23(日)13(1)。来院26、引取16。修理依頼多し。
○こどもと遊ぶ会24日(月)鵠洋児童館。8名。小学1～4年生19名。「青竹で作る水鉄砲」を手作り。
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム16日(日)8名(2)。子供15(新人2)父母4、公民館1。スクエア2023と佐藤九段講演と指導、告知。
○災害研究部会 7日(金)9名。スクエア2023で、参加者にキッズ防災マイスター認定証授与決定。
○極楽部会19日(水)20名。探求クラブ員を対象の「認知症セミナー」を開催。
○健康を探求する会27日(木)4名。「身体のカタサが招く不調。ストレッチ」ゲンキの時間(v.)視聴。
○サロン会15日(土)12名(1)。
○健康部会夏休み　○探訪部会夏休み
○農園部会①定例2日(日)7名②臨時10日(月)5名③臨時20日(木)4名(1)。キュウリ、トマト他収穫。
○談話室19日(水)13名。A.T.さんの「日本のレコード産業の現状」とM.ジャクソンらとの交流話。
○デジタル情報部会24日(月)14名①格安SIMって何？②「拡張子」③最近の迷惑メールetc.
○ヤングブラザーズ・8日(土)12名(4先生1)公民館まつり候補曲を練習・22日(土)16(5先生1)。
○近代史を語る会13日(木)10名 (1)新参加1名。『山川日本近代史』テキストでの一回目。意見交換。
○なつかしの名盤愛好会10日(月)6名。A.ジルベルト前月没で「イパネマの娘」を。
○似歌会11日(火)6名。27句。兼題「夏帽子」。トップ3点句が4句(略)。
○おひる探Q会6日(木)6名(1)味見役1。冷汁と素麺、デザートに小豆寒天。添え物に新生姜。
休会：○メディア委員会、○30周年記念行事委員会、○企業研究部会

8月　August

○第353回例会 出席30名。・公民館まつりの予定確認。・地域活動見本市9/2(土)本庁舎1F・湘南海岸公園祭り10/29(日)。
＜30周年記念行事＞「佐藤九段講演と指導対局」20日(日)公民館ホール。26名(2)・.招聘 佐藤九段、御尊父・.対局者 37 .一般64.公民館4、計133名。
○くぐひ制作部9日(水)参加8名。第115号(令和5年秋号)の第二回編集会議。
○鵠沼松が岡公園愛護会①6日(日)参加13名。初の女性ゲストYさん、公園デビュー。②20日(日)参加5名。
○藤が谷公園愛護会13日(日)参加9名(2)。真夏日。子ども達が遊べるスペースに影響→電動芝刈りで、整備、整頓。
○ヤングハーツ① 2日(水)月初練習 ② 16日(水)亀吉本店訪問。※8月より、部会長は野村時男から井上忍へ交代。
○おもちゃの病院①13日(日)D.・受付：11名(1)、来院：8(新患5件、引取8件)②27日(日)D.・受付：13名(2)来院：9(新患8件、引取12件)。
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム＜30周年記念行事＞「佐藤九段講演と指導対局」
○災害研究部会 4日(金)出席9名(2) 1. 大災害から学ぶ<令和3年8月豪雨 2.被災時の対応＜自宅の浸水対策>他。
○極楽部会15日(火)参加10名。健康講座2「いつまでも健康で自分らしく」時のプレゼン内容検討。
○健康を探求する会24日(木)参加5名。「健康寿命の別れ道」ゲンキの時間V.視聴。
○サロン会19日(土)参加13名(2)。
○カラオケ部会21日(月)参加9名(2)
○農園部会6日(日)定例 参加6名(1)。収穫後の後片付けと土壌の掘り起こし。女性がゲスト初参加。
○談話室15日(火) 参加10名。本来の16日から前日開催。SHIさんの「クラフトビール」(地ビール)談義。
○ヤングブラザーズ①12日(土)出席11人(2先生1)まつり候補曲を計時、6→5曲へ②26日(土)出席15人(5先生1)。全員集合。
○似歌会8日(火)第131回。参加5名。24句投句。兼題「踊り、盆踊り」。トップ3点句1句。　空見つめ 水を一口 原爆忌　楽采
休会：○メディア委員会、○HP制作部、○アーカイブ委員会、○30周年記念事委員会休会、○こどもと遊ぶ会、○健康部会、○探訪部会、○近代史を語る会、○企業研究部会、○デジタル情報部会、○なつかしの名盤愛好会、○おひる探Q会

自由席

私の趣味　「お芝居」

小川 隆

趣味といえるほどのものではありませんが、茅ヶ崎市で活動している「湘南えぼし座」という素人劇団の芝居にここ数年参加しています。芝居内容は大岡政談を現代風にしたもので、出演者は学生、サラリーマン、主婦、商店主、職人、フリーター、未就学児などバラエテイに富み、家族で参加されている方も多いのが特徴です。例年2月初めの顔合わせから始まり、4月終りの本番に向け1～2回/週の稽古が続きます。稽古は まず観客席の奥まで届くように大声を出す訓練。その後はセリフを喋りながらの演技。喉が枯れるほどの大声や感情移入したクサいセリフや演技などお よそ非日常的な稽古が続きます。はじめはいる素人気後れして稽古を重役者集団も、ねるうちに照れや恥じらいが薄れ、自分を笑うこと、捨てることに慣れ（麻痺して？）、鎧を脱ぎ捨て心を開放することの気持ち良さや楽しさを次第に感じるようになります。本番前日の深夜に及ぶ舞台準備は、はるか遠い高校時代の文化祭前夜のノリの楽しさ。そして迎える本番当日。衣装を纏いメイクを施すと、何故か腹が座り、ともかく楽しんじゃえ！という開き直りの心境で開幕時間を待つことになります。2023年公演は3年ぶりということもありお陰様で記録的な大入りとなりました。年に一度、たった1日の芝居ですが、約3か月間 100人近くの老若男女が「本番」という一つの目標に向け、力を合わせ創り上げていくことの喜びや楽しさを心から味わっています。「役者と〇〇は三日やったら止められない」などと言いますが、素人芝居ながらこの片鱗が実感できます。

毎年12月には次回公演の参加者募集が始まります。来年は、皆さんも役者にチャレンジしてみませんか？

編集後記　コロナが下火になり、昨年に続いて今年も鵠沼地区公民館まつりが開催される予定である。巻頭に世話人代表がその抱負を語る。当クラブの30周年記念行事が進んでいる。今回はその一環として公民館で開かれた「鵠っ子スクエア」について小山さんが、「佐藤康光九段（前日本将棋連盟会長）の講演と指導対局」について河村さんが独自のタッチで紹介。ともに盛況であった。藤沢市新庁舎ロビーで開かれた「第18回地域活動見本市」を坂口さんが紹介。当クラブへの新規加入が期待される。8月より「ヤングハーツ」の部会長が野村さんから井上さんに交代した。野村さん、長年お疲れ様。親睦研鑽部会紹介欄には「おひる探Q会」に鈴木さんが、「カラオケ部会」に池田雄一さんが登場、ともに会の楽しさを伝える紹介だ。クラブ短信には地域活動見本市に参加のヤングブラザーズについて池田修さんが投稿。ビフォア・アフターの欄には嶋村さんが。共感を覚える人も多いか。自由席には小川さんが　私の趣味「お芝居」で多趣味の一環を紹介。当クラブの会員の多才ぶりを知ることになった。　前114号の5ページにて記事中「伊藤薫」とあるのは正しくは「伊藤勲」です。お詫びして訂正します。（塩爺）

会報 くぐひ 第 115 号
2023 年 10 月 1 日
発行 くげぬま探求クラブ
発行人 坂口 純則
編集長 塩川 昌男